

今日のおおたか中 令和2年6月12日（金）

ゴールデンウィークはなぜゴールデン？

今年のゴールデンウィークから早1ヶ月が過ぎていますが、今日はそのGWの話題です。去年はなんと10連休だったゴールデンウィーク！いつもは嬉しいゴールデンウィークも、今年は印象が薄いままに終わってしまった人も多いのではないのでしょうか。

さて、当たり前に使っているゴールデンウィークという言葉ですが、いつから使われるようになったか知っていますか？

では、クイズです！次のうち、どの元号のころから使われるようになったのでしょうか？

1. 明治
2. 大正
3. 昭和
4. 平成

答えは……3. 昭和 です！

☆使われるようになったきっかけ

なぜゴールデンウィークと呼ばれるになったのか？

この言葉は、もとは映画業界から生まれた言葉でした。では、映画と連休にどんな関係があるのでしょうか。

1951年（昭和26年）、ある映画が公開されました。右のポスターに描かれている、『自由学校』です。この映画が公開されたのが今のGWにあたる5月の連休でした。すると、お盆や年末年始など、他の長い連休よりも興行成績がよかった（たくさんの人が見に来てくれたということ！）のです！



このことから、5月の連休を、ラジオを多くの人が聞く「ゴールデンタイム」（今はテレビによく使う言葉ですね）になぞらえて、**映画をたくさんの人が見に来るという意味で「ゴールデンウィーク」という造語が作られました。**これが広まり、今でも使われているのですね。

ちなみに、NHKではゴールデンウィークという言葉は使いません。「(春の) 大型連休」などと呼んでいます。NHKを見る機会があったら、ちょっと気にして見てみてください。

来年は、楽しいゴールデンウィークを過ごせる世の中になっていることを願っています！

おおたかの森中・社会科